

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

No 9 The company in Shirakawa

木村可鍛(株)

KIMURA KATAN CO., LTD.

住所：萱根金ヶ入14-4
事業内容：ダクタイル鋳鉄、普通鋳鉄、可鍛鋳鉄品の製造および販売 (ISO 9001 2008認証取得工場)



働きやすい環境を作りながら 地元に役立つ企業を目指す



- ① 鋳物製品。ブレーキ部品が生産の約6割を占めています
- ② 騒音に配慮し、工場周辺は山に囲まれています
- ③ 工場の機械は、効率良く作業をするため、社員自らがメンテナンスをしています
- ④ 金属を溶かす作業。約1,520度の高温です
- ⑤ 鋳型を作る機械。良品率アップのため設備投資をしています
- ⑥ 社長の木村さん。“産業サポート白河”の設立に携わりました

「私たちの会社は、重要保安部品である大型トラックのブレーキ部品などの鋳物製品を徹底した品質管理のもと製造しています」と話す社長の木村利郎さん。

木村可鍛は、大型トラック用ブレーキ部品、建設機械用エンジン、油圧部品、ガスコックバルブなどの鋳物製品を製造・販売しています。材質は、衝撃に強く、加工性が良いダクタイル鋳鉄を使用し、生産の効率化に努めています。

大正14年に東京都板橋区で木村鋳工所として創業し、昭和26年に木村可鍛鋳鉄工業(株)に社名を変更。平成2年には、環境の良さと交通の利便性から、埼玉県入間郡大井町から本市に工場を移転し、現在の社名、木村可鍛(株)として稼働しました。

敷地面積は56,440㎡、社員は42人。安全第一を心掛け、社員の安全に対する意識向上を目指し、リスクアセスメント(危険性の評価)教育を行っています。また、昨年12月から、同業企業とともに3S(整理・整頓・清潔)の徹底とTPM(全員参加の生産保全)活動をスタートしました。

「これからも安全な工場、福利厚生に力を入れた職場を目指し、社員が働きやすい環境を作っていきたいです。また、地域の皆さんや企業の方との交流を大切にしながら、地元に役立つ企業を目指していきます」と木村さんは力強く話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、11月16日から12月14日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

12月15日以降の義援金・寄附金については次号でお伝えします。

- (株)若林商店 様
- 澤井長利 様
- 前澤化成工業(株) 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
(11月22日～12月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- 明日飛子ども自立の里 様
- 栃木ボランティアネットワーク 様
- 表郷移動文庫「つくしの会」 様

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、本市出身の画家でしらかわ大使、今井珠泉さんの作品「飛翔」です。この作品は、昨年の3月に「第67回春の院展」に出展されたものです。今井さんから届いた、この作品に込められた思いを紹介します。

「私の出身地である福島県の人たちは、大変な生活を余儀なくされています。先の見えない時代ですが、何とか将来に向かって力強く歩き出してほしい。そんな思いをいつしか丹頂鶴の姿に託し、このような構図の絵が生まれました。この作品の中心にあるのは、“強く飛び立つ力”です。福島県の人たちが震災、原発事故からの復興に向けて、強く羽ばたいてほしいと、祈るような思いを込めました」
今井さんありがとうございました。

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>